

土木学会 地震リスクと事業継続性に関する小委員会
第4回 WG-2:地震リスクマネジメントとリスクファイナンス
議事録(案)

日時 2009年3月18日(水)14:30-16:30
場所 土木学会 F 会議室
出席者 吉川、兼森、神田、小丸、中村、宮島、村地、山田 8 名
(名簿順、敬称略)、欠席 2 名(小路、矢代、大峯)
配布資料 資料 4-1: 第 3 回 WG-2 議事抄録
資料 4-2: 仮想都市における自治体施設の SRM(中村)
資料 4-3: 仮想都市における電力事業者の SRM 概要(山田)
資料 4-4: モデルケーススタディ[製造業]の SRM(兼森)
資料 4-5: 地震リスクと事業継続に関する小委員会 WG-2 報告(村地)

1. 前回議事録の確認(資料 4-1)

2. 各モデルケースについて(資料 4-2~4-4)

各委員よりモデルケースの概要を説明いただき、問題等を協議。主な意見は以下のとおり。

- 自治体の SRM の対象は、建物施設内部とする。
- 電力・水道・鉄道・道路などの外部インフラの被害は、各モデルの SRM と密接に関係する。
- 各モデルで外部インフラへの対応は異なるため、下記の被害想定をベースに独自に設定すべき。
- 電力の SRM については、できるだけ網羅的なものとするために、細部に関しては簡略なものとする予定。
- 水道は上水のみを対象とする。

また、吉川委員長より『冒頭に SRM の基本マニュアル的なものの記述を入れるか、または、各モデルケース/各種施設の後に、まとめ/総括/評価的なコメントを入れたらどうか』の提案を頂いた。

9 月の土木学会研究討論会での発表を目標とし、次回会合(5/27)までに各担当委員により検討を進める。

3. 被害想定の見直しについて(資料 4-5)

第二回小委員会での指摘を受け、下記の通り被害想定を見直した。

	建物被害		人的被害		火災	避難人数
	全壊	半壊	死者	負傷者	出火件数	
プレート	1,000	2,000	20	300	5	10,000
断層北部	2,000	4,500	100	1,000	20	20,000
断層南部	21,000	22,000	700	4,500	40	100,000

	応急復旧日数			
	電力	都市ガス	上水道	工業用水
プレート	1日	16日	7日	想定しない
断層北部	3日	30日	21日	
断層南部	7日	60日	45日	

また、想定震度を下記の通り設定した。

想定地震	想定震度
プレート	5強(中心部)～6弱(沿岸部)
断層北部	6弱
断層南部	6強

4. 次回会合

WG-2(第5回) : 5月27日(水) 15:00-17:00(土木学会F会議室)

小委員会 : 7月28日(金) 14:00-17:00(土木学会A会議室)

WG-2 幹事: 村地、山田